



はじめに

本書では、Cisco Prime Collaboration Manager (CM) の管理方法および使用方法について説明します。

Cisco Prime Collaboration Manager は、Cisco TelePresence セッションのモニタ、トラブルシューティング、およびレポートを支援するビデオ サービス保証および管理システムです。このシステムは、サービスおよびネットワーク オペレータに、進行中のすべての Cisco TelePresence セッションを統合したリアルタイムのビューを提供します。

新機能および変更情報

次の表に Cisco Prime Collaboration Manager 1.1 ユーザ ガイドの初期リリース以降追加または変更された情報を記載します。

日付	リビジョン	場所
2011 年 12 月 15 日	<ul style="list-style-type: none">ポイントツーポイントおよびマルチポイント向けの Cisco Unified CM 8.6 <i>intracluster</i> セッションのシナリオを追加。また TC 5.0 のサポートも含む。HTTP に関する追加情報を記載。	<ul style="list-style-type: none">表 14-1 : 「セッション シナリオ」デバイス クレデンシャル プロファイルの追加およびコピー
2011 年 11 月 22 日	サポートされているセッションのシナリオを更新。	表 14-1 : 「セッション シナリオ」
2011 年 10 月 31 日	最初のバージョン	

対象読者

このマニュアルは、Cisco TelePresence System の設定、モニタ、およびメンテナンスと、起こり得る問題のトラブルシューティングを担当するネットワーク管理者およびオペレータを対象としています。これらの管理者は、次のビデオ コラボレーション デバイスに精通していなければなりません。

- Cisco TelePresence Manager (CTS-Manager) および Cisco TelePresence Management Suite (Cisco TMS) アプリケーション。
- Cisco TelePresence Multipoint Switch (CTMS)、Cisco TelePresence Multipoint Control Unit (Cisco MCU)、Cisco TelePresence MSE、および Cisco TelePresence Server (Cisco TS)。
- Cisco Unified Communication Manager (Cisco Unified CM) および Video Communication Server (Cisco VCS)。

マニュアルの構成

この文書は、次の項で構成されています。

章	タイトル	説明
1	Cisco Prime Collaboration Manager の概要	Cisco Prime CM の主な機能について説明します。
2	ビデオ コラボレーション ダッシュボードについて	Cisco Prime CM ダッシュボード（ホーム ページ）について説明します。
3	使用シナリオ	Cisco Prime CM の使用方法のシナリオを一部示します。
4	ベスト プラクティス	Cisco Prime CM のベスト プラクティスを一部示します。
5	ライセンスの管理	Cisco Prime CM のライセンスの管理方法について説明します。
6	ユーザおよびロールの定義	Cisco Prime CM ユーザの定義方法について説明します。
7	ポーリング間隔の定義	管理対象デバイスのポーリング間隔の定義方法について説明します。
8	システム コンフィギュレーション パラメータの設定	通知の設定方法について説明します。月次レポートの設定方法、Cisco Prime LMS および Cisco Prime NAM を Cisco Prime CM から相互起動する際の設定方法についても説明します。
9	ジョブの管理	ジョブの管理方法について説明します。
10	タイムゾーンおよび更新間隔の設定	Cisco Prime CM のタイムゾーンの設定方法について説明します。Cisco Prime CM ユーザ インターフェイスの更新間隔の設定方法についても説明します。
11	クレデンシャルの管理	デバイス クレデンシャルの管理方法について説明します。
12	デバイスの検出	デバイスの検出方法について説明します。
13	インベントリの管理	デバイス インベントリの管理方法について説明します。
14	セッションのモニタリング	セッションのモニタ方法について説明します。
15	エンドポイントのモニタリング	エンドポイントのモニタ方法について説明します。
16	レポートの生成	エンドポイント使用率レポートの生成方法について説明します。
17	障害管理について	Cisco Prime CM が障害をトラッキングする方法について説明します。
18	イベント管理のカスタマイズ	イベント モニタリングのカスタマイズ方法について説明します。
19	アラームのモニタリング	アラームのモニタ方法について説明します。
20	イベントのモニタリング	イベントのモニタ方法について説明します。
21	通知の設定	通知の設定方法について説明します。
22	セッションのトラブルシューティング	セッションのトラブルシューティング方法について説明します。
23	ネットワークの事前のトラブルシューティング	ネットワークのパフォーマンスおよび状態を事前にトラブルシューティングする方法について説明します。
24	トラブルシュート データについて	トラブルシューティング結果を説明します。

章	タイトル	説明
25	ネットワーク診断の実行	トラブルシューティング データに基づくネットワークの診断方法について説明します (Cisco Prime LMS および Cisco Prime NAM を Cisco Prime CM から相互起動するよう設定している場合のみ該当します)。
26	バックアップと復元の実行	定期的なバックアップの実施方法について説明します。
27	ログ レベルの設定	ログ レベルの設定方法について説明します。
A	CLI コマンドとスクリプト	サポートされている CLI コマンドおよびスクリプトを示します。
B	ユーザ インターフェイス	Cisco Prime CM ユーザ インターフェイスの各種要素について説明します。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	用途
太字フォント	コマンド、キーワード、およびユーザが入力したテキストは、 太字 フォントで示しています。
イタリック体	ドキュメント名、新規用語または強調する用語、値を指定するための引数は、 <i>イタリック体</i> フォントで示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	必ずいずれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	いずれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。 string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
courier フォント	システムが表示するターミナルセッションおよび情報は、 <i>courier</i> フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。



(注)

「注釈」です。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ワンポイントアドバイス

「時間の節約に役立つ操作」です。ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。



警告

「警告」の意味です。人為ミスを予防するための注意事項が記述されています。

関連資料

Cisco Prime Collaboration Manager 1.1 の全マニュアルの一覧は、『[Cisco Prime Collaboration Manager 1.1 Documentation Overview](#)』に記載されています。



(注)

元のドキュメントの発行後に、ドキュメントを更新することがあります。マニュアルのアップデートについては、[Cisco.com](#) で確認してください。

[ここをクリックして](#)、Cisco Prime Collaboration Manager トレーニング VOD にアクセスします。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

